洪水時の避難確保計画

（施設名）

# 令和　　年　　月　作成

－目次－

１　計画の目的

２　計画の報告

３　計画の適用範囲

４　防災体制

５　情報収集・伝達

６　避難誘導

７　避難の確保を図るための施設の整備

８　防災教育及び訓練の実施

添付資料（高岡市への提出は不要）

■　施設利用者緊急連絡先一覧表

■　緊急連絡網

■　外部機関等への緊急連絡先一覧表

■　河川の氾濫発生状況記入表

■　対応別避難誘導方法一覧表

■　防災体制一覧表

１　計画の目的

この計画は、水防法第15条の３第１項に基づくものであり、本施設の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

２　計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し、修正したときは、水防法第15条の３第２項に基づき、遅滞なく、当該計画を高岡市長へ報告する。

３　計画の適用範囲

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

【施設の状況】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用者数等  数 | | | |
| 昼間・夜間 | | 休日 | |
| 利用者 | 職員 | 利用者 | 職員 |
| 昼間  約　　　　　　　名 | 昼間  約　　　　　　　名 | 約　　　　　　　名 | 約　　　　　　　名 |
| 夜間  約　　　　　　　名 | 夜間  約　　　　　　　名 |

４　防災体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 体制確立の判断時期 | 活動内容 | 対応する班等 |
| 注意体制 | 以下のいずれかに該当する場合  ○大雨・洪水注意報発表  ○　　　　川氾濫注意情報発表 | ○統括管理者から各班に連絡体制を確立し  た旨連絡する  ○テレビ、インターネット、市防災情報メール  等から気象情報を入手 | 連絡体制確立 |
| 警戒体制 | 以下のいずれかに該当する場合  ○大雨・洪水警報発表  ○　　　　川氾濫警戒情報発表 | ○館内放送等で利用者などに発表情報等を  伝える  ○入院（所）者家族等への事前連絡を行う  ○引き続き気象情報の入手に努める周辺  住民への事前協力依頼を行う  ○地表の降雨の様子や浸水状況等監視する | 情報収集伝達要員 |
| ○資機材を準備し、避難経路の確認をする | 避難誘導要員 |
| 非常体制 | ○高齢者等避難、避難指示の発令  ○大雨特別警報の発表  ○　　　　川氾濫危険情報発表 | ○館内放送等で利用者などに発令内容等を伝える、避難誘導指示を伝達する | 情報収集要員 |
| ○利用者を安全な避難先に避難誘導する  ○避難状況の把握と避難もれ等を確認する | 避難誘導要員 |

連絡体制及び対策本部は、次の目安により必要に応じて設置する。

上記の他、施設管理者の指揮命令に従うものとする。

# ５　情報収集・情報伝達

　　情報収集体制については、次のとおりとする。

⑴　収集する情報・収集方法

|  |  |
| --- | --- |
| 収集する情報 | 収集方法 |
| 気象情報 | テレビ、ラジオ、情報提供機関のウェブサイト等  （その他収集ツール） |
| 洪水予報・河川水位 | 高岡市からのファックス、情報提供機関のウェブサイト等  （その他収集ツール） |
| 高齢者等避難  避難指示 | 高岡市からのファックス、テレビ、ラジオ  高岡市ホームページ、緊急速報メール  （その他収集ツール） |
| 停電時 | （資機材）　　　　　　　を活用して情報を収集するものとし、これに備えて、（備蓄品）　　　　　　　等を備蓄する。 |

* 提供される情報に加えて、雨の降り方、施設周辺の水路や道路の状況、斜面に危険な前兆が無いか等、施設内から確認を行う。

⑵　情報伝達

|  |  |
| --- | --- |
| タイミング | 内容 |
| 気象情報、  洪水予報等が発表  された場合 | ・「（連絡網等）　　　　　　　」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。 |
| 警戒体制下で、  非常体制に  移行するおそれが  ある場合 | ・「（連絡網等）　　　　　　　」に基づき、保護者に対し、「非常体制に移行した場合、　　　　　　　　　　（避難場所）へ避難する」旨を連絡する。  ・協力を得られる自主防災組織（自治会）にも連絡をする。 |
| 非常体制に移行し、  避難する場合 | ・必要に応じて、災害対策本部（saigaihonbu@city.takaoka.lg.jp）に、「　　　　　　　　　（避難場所）に避難する」旨をメールする。  ・「（連絡網）　　　　　　　」に基づき、保護者に対し、  「非常体制に移行した場合、　　　　　　　　　　（避難場所）へ避難する」旨を連絡する。 |
| 避難を完了した場合 | ・災害対策本部（saigaihonbu@city.takaoka.lg.jp）に避難が完了した旨をメールする。  ・「（連絡網）　　　　　　　」に基づき、保護者に対し避難が完了した旨を連絡する。 |

# ６　避難誘導

避難誘導については、次のとおり行う。

⑴　避難場所

避難場所は　　　　　　　　　　　　　　（住所　　　　　　　　　　　）とする。

周辺の浸水状況や利用者の健康状態等により、避難場所への避難が困難な場合は、

一時避難場所として本施設　　　　　　　階　　　　　　（室）へ避難する。

⑵　避難経路

避難場所までの避難経路については、別紙「避難経路図」のとおりとする。

⑶　避難誘導方法

①　移動距離・移動手段

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 名 称 | 移動距離 | 移動手段 |
| 避難場所 |  | （　　　　　　）m | □徒歩  □車両（　　　）台 |
| 屋内安全確保 |  |  |  |

②　注意事項

ア　施設の浸水の危険に関すること

**施設の浸水ランクをハザードマップで確認　（　該当浸水ランクに☑　）**

□　０．５ｍ未満（１階床下浸水）

□　０．５ｍ以上～３ｍ未満（１階床上浸水）

□　３ｍ以上～５ｍ未満（２階床上浸水）

□　５ｍ以上

イ　避難を開始すること

ウ　誘導員の指示に従うこと

エ　エレベーター等は使用しないこと

オ　避難する際は、車両等を使用せず徒歩を原則とする

* 避難誘導にあたっては拡声器、メガホン等を活用し、先頭と最後尾に誘導員を配置する
* 避難誘導員は、避難者が誘導員と識別できよう誘導用ライフジャケットを着用し、必要に応じて蛍光塗料を現地に塗布するなどして、避難ルートや側溝等の危険箇所を指示する
* 避難する際には、ブレーカーの遮断、ガスの元栓の閉鎖等を行う
* 施設からの退出が概ね完了した時点において、未避難者の有無について確認する

【別紙　避難経路図】

　洪水時の避難場所は、ハザードマップの想定浸水域及び浸水深（浸水ランク）から、以下の場所とする。

**避　難　経　路　図**

# ７　避難の確保を図るための施設の整備

情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する施設及び資器材については、下表「避難確保資機材等一覧」に示すとおりである。

これらの資機材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

【避難確保資機材等一覧】

|  |  |
| --- | --- |
| 備 蓄 品 | |
| 情報収集・伝達 | □テレビ □ラジオ □タブレット □ファックス |
| □携帯電話 □懐中電灯 □電池 □携帯電話用バッテリー |
| 避難誘導 | □名簿（従業員、施設利用者） □案内旗 □タブレット □携帯電話 |
| □懐中電灯 □携帯用拡声器 □電池式照明器具 □電池 |
| □携帯電話用バッテリー □ライフジャケット □蛍光塗料 |
| 施設内の  一時避難 | □水（１人あたり ℓ） □食料（１人あたり 食分） |
| □寝具 □防寒具 |
| 高齢者 | □おむつ・おしりふき |
| 障害者 | □常備薬 |
| 乳幼児 | □おむつ・おしりふき　　□おやつ　　□おんぶひも |
| その他 | □ウェットティッシュ　　□ゴミ袋　　□タオル　　□（　　　　　　　 ） |

# ８　防災教育及び訓練の実施

⑴　毎年　　　　　月に新規採用の職員を対象に研修を実施する。

⑵　毎年　　　　　月に全職員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

高岡市への提出は不要

■　施設利用者緊急連絡先一覧表（既存のものがあればそれを活用）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設利用者 | 緊急連絡先 | その他  （緊急搬送先等） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

高岡市への提出は不要

高岡市への提出は不要

■　緊急連絡網（既存のものがあればそれを活用）

|  |
| --- |
| 氏名 |
| （　　　　　） |

↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| （　　　　　） | （　　　　　） | （　　　　　） | （　　　　　） |

↓　　　　　　　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　　　　　↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| （　　　　　） | （　　　　　） | （　　　　　） | （　　　　　） |

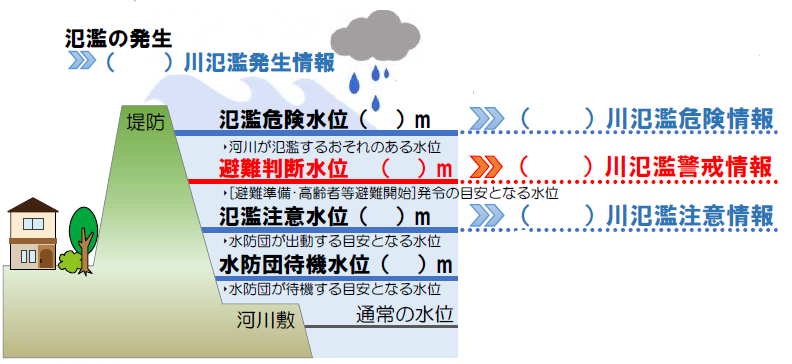
↓　　　　　　　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　　　　　↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| （　　　　　） | （　　　　　） | （　　　　　） | （　　　　　） |

■　外部機関等への緊急連絡先一覧表（既存のものがあればそれを活用）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 連絡先 | 担当部署 | 担当者氏名 | 電話番号 | 連絡可能時間 | 備考 |
| 市町村（防災担当） |  |  |  |  |  |
| 市町村（福祉担当） |  |  |  |  |  |
| 消防署 |  |  |  |  |  |
| 警察署 |  |  |  |  |  |
| 医療機関 |  |  |  |  |  |

■　河川の氾濫発生状況記入表



高岡市への提出は不要

高岡市への提出は不要

■　対応別避難誘導方法一覧表

（既存のものがあればそれを活用）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対応内容 | 氏名 | 避難先 | 移動手段 | 担当者 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※以下の該当番号を記入

（避難場所への移動）

１：単独歩行が可能、２：介助が必要、３：車いすを使用、４：ストレッチャーや担架が必要

５：その他の対応、６：自宅に帰宅、７：病院に搬送

高岡市への提出は不要

高岡市への提出は不要

■　防災体制一覧表（既存のものがあればそれを活用）

管理権限者（ ）（代行者 ）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 情報収集  伝達要員 | 担当者 | | | 役　割 |
| 班長（ |  | ） | □自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、 |
| 班員（ | ）名 |  | 情報内容の記録 |
| ・ |  |  | □館内放送等による避難の呼び掛け |
| ・ |  |  | □洪水予報等の情報の収集 |
| ・ |  |  | □関係者及び関係機関との連絡 |
| ・ |  |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 避難誘導  要員 | 担当者 | | | 役　割 |
| 班長（ |  | ） | □避難誘導の実施 |
| 班員（ | ）名 |  | □未避難者、要救助者の確認 |
| ・ |  |  |  |
| ・ |  |  |  |
| ・ |  |  |  |
| ・ |  |  |  |
| ・ |  |  |  |

**参考資料**

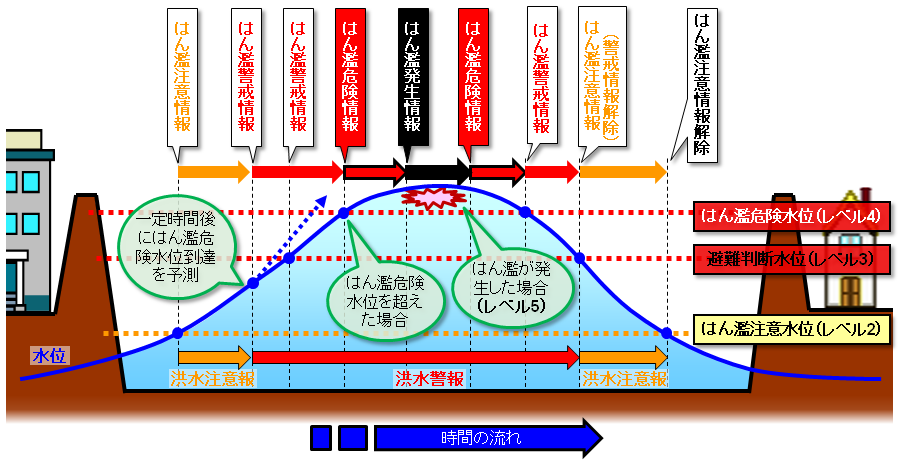
１　洪水に関する防災気象情報

　 洪水が予想される場合の各種防災気象情報の内容について下記のとおりです。なお、情報の種類については、気象情報（洪水注意報・警報）、水防警報、洪水予報、避難判断水位到達情報があります。

⑴　防災気象情報の内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 水位危険度 | 水位の名称  （水防団の体制） | 洪水予報の種類※  ［洪水注意・警報］ | 市町村・住民に求める行動等 |
| レベル５ | はん濫発生 | はん濫発生情報  ［洪水警報］ | ・逃げ遅れた住民の救助等  ・新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導  ・住民の避難完了 |
| レベル４ | はん濫危険水位 | はん濫危険情報  ［洪水警報］ | ・市町村は避難指示の発令を判断  ・住民は避難を判断  ・生命を守る最低限の行動 |
| レベル３ | 避難判断水位 | はん濫警戒情報  ［洪水警報］ | ・市町村は高齢者等避難発令を判断  ・住民は避難を判断 |
| レベル２ | はん濫注意水位  （水防団出動） | はん濫注意情報  ［洪水注意報］ | ・住民ははん濫に関する情報に注意 |
| レベル１ | 水防団待機水位  （水防団待機） | （発表なし） |  |

※ 洪水予報は、洪水予報指定河川に限る。



（気象庁ＨＰより）

⑵　気象情報（洪水注意報・警報）

|  |  |
| --- | --- |
| 種類 | 発表基準 |
| 洪水注意報 | 洪水によって、災害が発生するおそれがあると予想したときに発表される。 |
| 洪水警報 | 洪水によって、重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表される。 |

⑶　洪水予報

気象庁は国土交通省と共同して、あらかじめ指定した河川（庄川、小矢部川）について、区間を決めて水位または流量を示した洪水の予報を行っています。

　 指定河川洪水予報には下表のとおり４つあり、河川名を付して「○○川はん濫注意情報」のように発表します。はん濫注意情報が洪水注意報に相当し、はん濫警戒、はん濫危険、はん濫発生情報が洪水警報に相当します。

　 洪水予報は、市や報道機関を通じて地域住民の方々へ伝えられるほか。気象庁や関係機関のホームページからも閲覧することが可能です。

　 発表基準は下表、発表様式は、別表１のとおりとなっています。

別表1　洪水予報発表様式

|  |  |
| --- | --- |
| 種類 | 発表基準 |
| はん濫注意情報（洪水注意報） | はん濫注意水位に到達し、更に水位の上昇が見込まれるとき |
| はん濫警戒情報（洪水警報） | 避難判断水位に到達し、更に水位の上昇が見込まれるとき、あるいは、水位予測に基づきはん濫危険水位に達すると見込まれた時 |
| はん濫危険情報（洪水警報） | はん濫危険水位に到達し、更に水位の上昇が見込まれるとき |
| はん濫発生情報（洪水警報） | はん濫が発生した時 |

⑷　避難判断水位到達情報

都道府県が管理する中小河川（水位周知河川）において発表され、河川からの氾濫の恐れのある危険水位に近づいた時の、避難等の参考になる水位です。

発表基準は下表、発表様式は、別表２のとおりとなっています。

別表2　避難判断水位到達情報発表様式

|  |  |
| --- | --- |
| 河川名（水位基準点） | 水位（ｍ） |
| 千保川（市場橋、志貴野橋） | 2.90、4.90 |
| 祖父川（樋詰橋） | 2.30 |
| 岸渡川（岸渡川鉄道橋） | 2.00 |

⑸　情報の入手方法

①　 富山防災WEB（富山県）

<http://www.bousai.pref.toyama.jp/web/jsp/index.jsp>

**

＜天気・気象情報＞

・注意報・警報

・天気予報

・台風情報

・レーダーアメダス

＜土砂災害警戒情報＞

・土砂災害警戒情報

＜雨量・水位＞

・県内雨量、水位実況表　など

②　川の防災情報（国土交通省）

<http://www.river.go.jp/>

**

・レーダー雨量

・テレメータ

（雨量・水位・水質・積雪）

・洪水予報

・水防警報

・ダム情報　など

③　気象庁HP

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

**

＜気象警報・注意報＞

　・気象警報・注意報

　・指定河川洪水予報

　・土砂災害警戒情報

＜天気予報＞

　・レーダーアメダス

＜気象観測データ＞

　・観測データ情報

＜地震、津波に関する情報＞

　・津波警報・注意報　など